



6,144ch大気蛍光望遠鏡信号処理装置(写真提供:東京大学宇宙線研究所様)と感謝状(写真下)

宇宙起源の謎に迫るテレスコープアレイの開発に貢献！ 感謝状をいただきました

8月25日東京大学宇宙線研究所様において、テレスコープアレイ(宇宙望遠鏡)実験の完成記念式典が行われ、大気蛍光望遠鏡用FADCモジュール(6,144chの信号処理)を担当した明星電気は「大気蛍光望遠鏡の開発に貢献した」として感謝状をいただきました。

テレスコープアレイ実験とは、日本、米国、韓国、ロシアが協力して、宇宙起源の謎に迫るため、超高エネルギーの宇宙線を高精度で検出する実験です。

ユタ州の広大な荒地に設置した大型の望遠鏡は、576セットの検出器を1.2キロメートル間隔に設置(広さ琵琶湖1.5倍相当)した『地表粒子検出器』と周囲に当社が担当した2箇所(1箇所12台ずつ設置)と移設した1箇所の大気蛍光を検出するための反射望遠鏡からなる『大気蛍光望遠鏡』から構成されています。

今後、得られたデータを使って、超高エネルギー宇宙線にまつわる様々な謎の解明が進むことでしょう。



鶴沼地区 二岐ダムの景観

福島県会津農林事務所様から 鶴沼川地区 二岐ダム設備更新受注！

会津若松市から西におよそ20キロに位置する二岐ダム(大沼郡会津美里町)は、1969年に竣工した洪水調整・かんがい用水を用途として造られたアースダム(土台形に盛り上げて造ったダム)です。

鶴沼川地区では、洪水による災害の防止を目的に1950年から1970年の間に宮川ダム、二岐ダム、栃沢ダムの順に建設されました。

明星電気は、2005年に栃沢ダムのテレメータ設備の一部更新を完了、2008年9月二岐ダムの更新工事を受注しました。

本設備の構成は、堤体に浸潤線水位計、漏水量計、放流量計、地震計を設置し、二岐ダム管理所で気象(風向/風速、気温等)とダム水位の計測データを管理するシステムです。将来的には、3ダム全ての更新が完了した後、無線テレメータによって計測したデータを中継局経由で中央管理所(鶴沼防災監視局)に伝送、遠隔監視が出来るシステムとなる予定です。

明星電気の技術が、地域住民の安全のために役立てられています。



「地震防災対策実務者向けセミナー」の様子とミッドタウン外観(写真下)



「地震防災対策実務者向けセミナー」 ～大好評の活用現場見学会～

明星電気は、7月24日と9月24日に「地震防災対策実務者向けセミナー」と題し、「緊急地震速報活用による被害軽減ポイント説明と現場見学会」を東京ミッドタウンマネジメント株式会社様のご協力のもと開催しました。

昨年度全国主要都市7ヵ所で開催した「緊急地震速報活用セミナー」と異なり、実際設置されている現場を見られるということもあり、各回50名の定員のところ60名を越える方々の参加がありました。

東京ミッドタウン(東京都六本木)では、今年1月からQCAST®シリーズの運用が開始されており、システム構成は再配信機能を用い、効率的に巨大な商業施設全体に館内放送で揺れる前に避難警報放送を流しています。

当日は、弊社講師による緊急地震速報活用動向や導入事例の説明の後、同社施設管理担当者様の案内により、防災センターの緊急地震速報運用現場の見学を行いました。質疑応答も盛んで、大盛況のうちに終了となりました。

明星電気は、今後も緊急地震速報の活用方法等を具体的に説明するセミナー等を計画しており、その普及に努め企業様の減災に役立つ活動をこれからも続けてまいります。

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。